

# 災害時要援護者 疑似体験プログラム

**どのような支援が必要なのかを知ることが助け合いの第1歩！！**

**疑似体験を通して、災害時に自分たちにできる支援を考えてみましょう。**

**体験後にはきっと優しい気持ちになっていることでしょう・・・**

## 災害時要援護者疑似体験プログラム

災害時要援護者疑似体験プログラムは、歩く、見る、聞くといった身体の動きや機能が制限された状態を実際に体験することで、避難行動、避難生活における支援のポイント・注意点を学ぶことができるプログラムです。

こどもから大人まで幅広い世代で体験的に学ぶことができるプログラムです。

■準備するもの・・・ 疑似体験セット（泉区役所総務課で貸出）

<手順>

### 【STEP1】

疑似体験セットを装着する ※必ず補助者をつけ、2人以上で行いましょう



### 【STEP2】

装着した状態で、歩く・座る・立ち上がる・階段を上り下りする・字を書く、といった日常生活の動作を確認しましょう



### 【STEP3】

何もつけていない状態と疑似体験セットを装着した状態で、どのような違いを感じたか話し合しましょう

（例）体験者の感想、補助者の感想

### 【STEP4】

要救助者等の状態別に避難時に必要となる支援方法について話し合しましょう

※ 併せて、災害に避難の支援が必要となる方を把握する仕組みづくりを行うことや、避難支援を効率的に行う資機材（担架等）を整備することで、緊急時の対応力が向上しますので、共助推進プログラム①（安否確認実践プログラム）と、共助推進プログラム③（避難支援用グッズ体験プログラム）にも取組んでみましょう。

#### 実施のポイント

- ・実施後に必ず振り返りの時間を設けましょう。
- ・プログラム単体で実施するのではなく、地域の人が集まりやすいイベントと併せて実施すると参加しやすくなります。

<イベント例>

- ・地域の防災訓練
- ・地域のイベント（餅つきや芋煮会など）

#### ※ グッズの借用

団体名、貸出期間等を泉区役所総務課防災担当と調整してください。

【泉区役所総務課防災担当 TEL800-2309】

実施の際は安全に配慮し、グッズの紛失・損傷等に注意して行ってください。